



61年目の新たなるスタート

2024年1月吉日
会長 水野 夏美

明けましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になりました。

たくさんの方々にお力添えをいただき、心より感謝申し上げます。



昨年は、設立60年目となる節目の年にあたり、設立60周年の「記念講演会」や「記念コンサート」を企画し、開催することが出来、会内外から多くの皆様方にご参加いただきました。ご参加された皆様方の学びや楽しいひと時となったのであれば幸いです。

本会、60年の歩みを振り返り、諸先輩方のご尽力や現会員の力強い歩み、日頃より支えてくださる多くの賛助会員の皆様方、そして様々な関係諸機関の方々からのご理解、ご協力、ご支援を改めて深く感じ、感謝の思いです。そして、この先も会員一同、力を合わせ、明るい未来へ進むべく、新たな思いを巡らせた一年となりました。

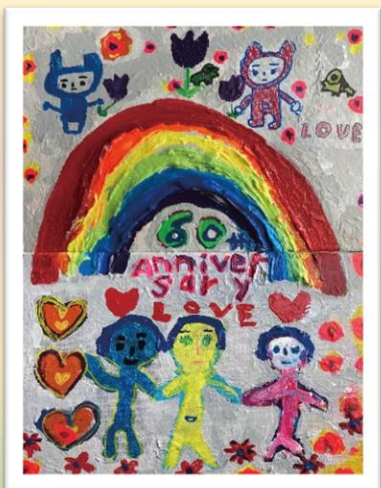
また、新型コロナウイルス感染症の位置づけが、「2類相当」から「5類」に移行したことに伴い、中止となっていた様々な行事も少しずつ再開するとともに、オンラインでのセミナーや講演会、会議等も対面開催となりました。情報があふれている現代ですが、人と人とが顔を合わせ、話をする事の大切さを再認識することもできました。

「60周年記念講演会」で福岡寿先生が、『親が障害のある子どもに残せる財産や安心な制度等は、預金や成年後見制度等、様々あり、どれも大切なものですが、子どものことをよく知っている人が大勢いて、その人たちが親なき後も子どものことを定期的に情報共有や意見交換等を検討していくチームがあるならば、それは最高の財産です!』とおっしゃられていた言葉が大変印象に残っています。正に人が生きていくうえで欠かせないものは「人」であり、どのような形でも人と人とが繋がることでプラスのエネルギーが波及していくことを感じました。

本会は、還暦の昨年から今年は新たな第二の人生(活動)となる61年目のスタートとなります。

社会に於いては、各職業の人手不足や、物価高騰、政治の混乱、異常気象、世界での戦争、感染症の心配など、気持ちも重くなる話題が多い昨今ですが、今年の干支は天まで昇る勢いのある辰年!仲間と手をつなぎ、一人ひとりの強みや知恵を重ね合わせながら、数多くの課題を一つひとつタツ(辰)セイ(達成)するために、元気に楽しく進んで参りたいと思います。

結びに、本会に関わる皆様方、本年もご指導ご鞭撻をどうぞよろしくお願い申し上げます。



～ 立川アールブリュット作家 玉川宗則氏 作 ～

60周年記念品 エコバックに印刷して、会員の皆さまに贈呈しました。